

【事例④：資機材調達における取り組み】

- 資機材の調達においては、グループ大での外部知見の活用や競争発注を進めるとともに、見積り依頼方式の工夫として、一括発注や材料・工事の分離発注、総合評価方式の採用、機器の仕様の見直しなどによるコスト低減を進めています。今後も引き続き、取り組み内容の深掘りを検討していきます。

＜資機材調達コスト低減の例：水力発電所の水車発電機更新のケース＞

| | |
|-------------------------------------|---|
| 競争発注の実施 | ・アフターメンテナンスの迅速さ・安定性などを踏まえ取引先を複数社選定 |
| 見積り依頼方式の工夫 (グループ大での一括発注) | ・グループ本社とほくてんエコエナジー(株)が同時期に更新を行う発電所に対して一括して見積りを行い、スケールメリットが最も反映された見積りを採用 |
| 総合評価方式の採用 | ・イニシャルコストに加え、水車発電機効率を基に収益性を評価 |
| VE提案の積極採用 | ・取引先から技術的コスト低減方法の提案を受け当社の仕様に反映する「VE提案方式」を積極的に採用 |
| EPC契約の採用 | ・EPC(設計・調達・建設)をまとめて発注することで、受注者の総合力を活用するとともに、詳細設計以降の金額上昇リスクを回避 |